

# ウムチョ ムィーザ通信

No. 58

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

## ウムチョムィーザ学園

### ムタバジ テオネステ 校長より



日頃より、ウムチョムィーザ学園を支えてくださっている皆様に感謝申し上げます。当学園の運営のために、経済的・技術的な支援を惜しまずに与えてくださっている日本の皆様の寛大なご協力に感謝いたします。

昨年1月7日から1学期が始まり3月16日からコロナ禍のため休校が続いていました。その後、手洗い・検温・ソーシャルディスタンスの取組みを条件に昨年11月2日ウムチョムィーザ学園を再開することが出来ました。高学年のみの再開でしたが、その後11月23日に4年生、今年2月23日から全校生248名で遅ればせながら2学期を始めることが出来ました。おかげで教職員14名も、今回日本からの支援によりロックダウン中解雇及び学園閉校の決断をすることなく雇用できたことに深く感謝しております。給食も3月1日から全面实施することが出来ました。



新型コロナウイルス感染症が発生してからは、多くの保護者が仕事を失い以前にもまして学校運営が厳しい状況が続いています。キガリのロックダウン期間中、IT設備が整っていなかったため、行政が進めていた「Eラーニング」は十分に行うことが出来ませんでした。学園として出来る限りネットでの授業やプリント学習を続けてきました。

そのような状況を経て、学園再開後教職員と子ども達が遅刻せずに学校に来てくれることが当学園の良い文化で、朝の挨拶に感動させられ生きがいと責任を感じる毎日です。学習用具もなかなかそろえるのが厳しい状況でも学校に送り出してくれる保護者に感謝しています。



当学園は、学力向上はもちろん、心と体を成長させて、平和を尊ぶ人間形成を目標にしています。そのために情操教育にも力を入れ、音楽・ダンス・アートなどの特色ある授業を取り入れています。そうした学園の特色を理解した保護者の期待に応えられるよう、私達教職員も日々努力していきたいと考えています。

さらに、日本との結びつきを特色とする当学園は、異文化教育をとおしてグローバルな感覚を育てていきたいと思えます。また、給食が再開出来たことに感謝し、これから食育にも力を入れていきたいと考えています。学園の農園を使い、野菜の育て方を通じて人間が生きていくために必要な知識を体験として学び、保護者にも伝わっていくことを期待したいと思います。

新型コロナウイルス感染症が子ども達の夢を奪わないように活動を続けます。うれしいことにロックダウン前より生徒が28名も増えました。それにより教室や机等新たな課題も増えましたが、一歩一歩前に進めるように、子ども達の笑顔と未来のために頑張りますので、これからもどうぞお力をお貸しください。



## ウムチョムイーザ学園報告

### ○ 2020年9月1日～12月31日 学費の納入状況報告

生徒数：220名

学費計画：100,000ルワンダフラン×220名

完納	9名
一部納入	48名
全額未納	163名

\*2020/12/31 現在時価換算による。

	予算	決算	
学 費 収 入	2,276,560 円		
納 入 額		210,382 円	9.2%
未 納 額		2,066,178 円	90.8%
前年度までの未納分納入額		92,824 円	

(1人あたり=1学期100,000ルワンダフランを約10,348円に換算)

### ○ 2020年9月1日～12月31日 学園会計報告

〔収入〕

〔支出〕

円換算

項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費(前回未納分含む)	303,206	職員給料	1,454,100	広報費	0
入学登録料	6,209	職員ボーナス	0	住民税	6,830
学校保険掛金	0	年金掛金	51,384	交際費	8,559
給食費収入	166,101	健康保険料	67,441	銀行手数料	4,760
ピアノレンタル収入	0	国税	91,059	制服布地	12,418
制服・学用品販売	4,139	給食経費	104,808	出産休暇保障	3,854
制服作成室賃貸	0	光熱水費	18,938	退職金	39,117
多目的室賃貸収入	0	通信費	4,502	SACCOへ返済	150,965
アンテナ収入	0	消耗印刷費	15,947	銀行借入返済	180,991
水販売収入	0	旅費交通費	38,641	土地諸費用	93,135
その他の収入	17,282	会議・研修費	17,468	設備改修費	227,003
考える会からの支援	827,867	施設維持費	175,032	コロナ対策費用	197,653
個人寄付	56,466	弁護士料	76,681	12月分税金	89,350
補助金	0	生徒医療保険	0		
繰越金	135,535	備品購入	0		
SACCOからの借入	1,587,980	建設修理費	0		
銀行借入金	25,871	小計	2,116,001	小計	1,014,635
合計	3,130,656			合計	3,130,636

残金 20

今回は、コロナ禍で学園のロックダウンもあり学費を納入出来ない保護者が多かったのですが、日本からの支援やSACCOというルワンダの教職員共済組合からの低金利での借り入れで職員の給料等の維持や教室・トイレの改修等コロナ対策も実施することが出来ました。



# NPO法人ルワンダの教育を考える会ルワンダ事務所からの報告

ルワンダ支援の会計報告

\* 2020 / 12 / 31 現在時価換算による

期間：2020年9月～12月

単位：円

ADESOC ウムチョ ムイーザ学園	ウムチョ ムイーザ学園 設備支援	ミヨベ プロジェクト	水せっけん プロジェクト	ルワンダ 事務所	計
827,867	1,384,270	223,700	1,465,480	538,226	4,439,543

※ 日本の円をルワンダへ送金すると、日々金額が変動するので、報告額を単純に比較できないので、おおよそそのお金の動きとしてご理解願います。今回は 100 ルワンダフラン≒10.35 円で表記します。

永遠瑠マリルイズ



[ 2020年9月～12月 プロジェクト支援報告 ]

## 1 ADESOCへの支援

ウムチョムイーザ学園の運営母体であるADESOCに、要請に応じて、当会のルワンダ事務所から出来る範囲の支援を行っています。コロナ禍の中で、先生方への支援によりネットやプリント配布を続けて休校中も子ども達の学びを継続することが出来ました。

## 2 ウムチョムイーザ学園設備支援

コロナの感染防止対策として、二つの手洗い場や、ソーシャルディスタンスを保つために、今回一人用の机とイスを提供することが出来ました。さらに、学校に看護師を派遣したことによって、毎日の検温や健康管理を行うことが出来るようになりました。



## 3 ミヨベプロジェクト

当会のルワンダ事務所をとおして歴史的に取り残された地域と言われる最貧困地区ミヨベの入学前の子供達に給食を続けています。さらに今回は靴とTシャツと母親には巻きスカート、父親にはズボンを支援することが出来ました。喜ぶ姿に笑顔があふれました。

## 4 水せっけんプロジェクト

コロナ禍の中、当会はルワンダにあるドイツ大使館の協力を受けて行政と共に、最貧困の人達に水せっけん作りを指導し自立への支援活動を行いました。シ



出来た水せっけんを  
病院へ寄付

ングルマザー・ミヨベ地区の人達・キガリ市内の障がいを持っている人や失業者への技術研修を4か月間行い、修了時には原材料を支給しその後続くフォローアップとアドバイスを続けています。研修終了後4000ℓの水せっけんを学校や病院に届けることが出来、感染予防に役立つと同時に一人一人の自立に役立っていくことを願っています。

## 5 当会ルワンダ事務所

行政と水せっけんの取組みをしていく中で、コロナ禍の中ストリートチルドレンが増えていることに気づきました。そこでクリスマス期間に、路上で物乞いをしている子ども達の家々を訪問し、50家族にトウモロコシの粉5kg・豆5kg・食料油5リットルそして水せっけんを届けることが出来ました。しかし、あまりに人数が多く支援が十分に行き渡ったとは言えず今後の課題となりました。

ルワンダと日本スタッフの連携を深め、コロナ禍の中で命を守る活動を続けていきたいと思えます。最後に、ルワンダの子ども達の教育に力を注いでくださっている皆様に感謝しています。

## ムレヴァイレ エリカ



私は今、ウムチョムイーザ学園の6年生です。新型コロナウイルス感染症は、私たちを家に閉じ込めました。とてもつらかったです。おかげさまで学校に戻ることが出来て、とてもうれしいです。学校を再開に導いてくださった方々及び感染症予防を頑張った一人一人に感謝しています。

今は、7月の小学校卒業国家試験に向けて勉強に集中しています。昨年1月に6年生になり11月に卒業の予定でしたが、長い6年生を続けています。授業を受けながらマスクをつけているのがつらいです。でも、そうしなければコロナが広がってしまい、またロックダウンになってしまいます。みんなでルールを守って、常に手洗い・ソーシャルディスタンスを保っています。

長い間学校に来られなかったのではりきって授業を受けています。

私の夢は、宝石のデザイナーです。ネックレス・指輪・ピアスなどのデザイナーになりたいと思っています。



## フレード



私は16歳の小学校4年生です。現在、ルワンダの教育を考える会ルワンダ事務所で生活させていただいています。もともとウムチョムイーザ学園の生徒でしたが、家庭の事情で路上生活をしていました。その時、マリールイズさんがルワンダに来ていることを知って、もう一度学校に行きたいとルワンダ事務所を訪ねました。

生後1ヶ月から、父と祖母に育てられました。3歳の時に学園の幼稚園に入りました。その後、父からの暴力がひどくなり祖母も病気になり、生き場がなくなり路上に飛び出しました。今、学校に戻れたことがとてもうれしいです。算数が一番好きです。

父は、腕の良い自動車整備士です。しかし、酔うと殴るけるが当たり前になってきました。でも、飲まないときの父の姿にあこがれています。勉強して父のような自動車整備士になりたいと思っています。



今は、マリールイズさんと好物のトウモロコシの粉の団子「ウガリ」をお腹いっぱい食べることが出来て幸せです。感謝の気持ちでいっぱいです。いっしょうけんめい勉強したいと思います。



# コロナ緊急募金報告

事務局

日頃より、NPO法人「ルワンダの教育を考える会」をご支援いただいている会員・支援者の皆さま、この度は、あたたかいお気持ちと一緒に、コロナ緊急募金のご寄付を賜りましたこと、心から御礼申し上げます。この度の、コロナウイルスの感染拡大により、お亡くなりになられた方々、また今も後遺症により苦しんでおられる方々に、心よりお祈り申し上げます。

当会では、ウムチョムイーザ学園の運営の危機、また当会の運営の危機的状況をお伝えしコロナ緊急募金を募ってまいりました。おかげさまで、少しずつではありますが、皆様お一人お一人の温かい真心のご寄付のおかげで、2月16日より学園に、誰一人欠けることなく生徒たちが元気にもどってくることができました。まだまだ先の見えない状況が全世界で続きますが、子ども達の笑顔を守り、あけない夜はない！という希望をもって今後も精進していきます。引き続き、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。



**3月15日現在・・・コロナ緊急募金寄付総額2,223,373円**



## 第55回社会貢献者表彰式報告

この度は、11月30日帝国ホテル東京にて社会貢献支援財団様よりNPO法人ルワンダの教育を考える会に歴史ある賞を頂戴したことに、大変栄誉を感じております。ルワンダの子ども達へ長い間、日本国内・海外からの温かいご支援があったからこそ、私たちの団体は活動できております。また、今回このような賞をいただくきっかけを作っていただいた推薦人であるANT-Hiroshima（アント広島）の事務局をはじめ、当会の正会員である山本真左美さん、これまで当会の活動を支え、見守ってくださっている多くの皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。感謝申し上げます。

ルワンダにて特に学校に通い教育を受けることのできない子ども達に対して教育を通して、将来を担う子ども達に教育の大切さ・平和の尊さを伝える活動に取り組んでまいりました。

今年で当会設立20周年を迎え今まで支えていただいた皆様に感謝の気持ちを表すイベント等を国内とルワンダ現地から企画する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の閉鎖などがあり、学園の存続の危機に見舞われました。しかし、コロナ緊急募金を募り支援者の方々の皆様からご寄付をいただき11月より再開し、また元気に通う子ども達と交わることができました。変わりゆく日々の中で、多くの困難に直面しながらも、このような活動を行い、支えてくださっている多くの方々と共に得た意義のある受賞であること、弊団体の設立20周年の節目でもあり、嬉しく思うと共に、さらに邁進できればと思います。



## 美味しいハンバーグ B L Tカフェから

### ウムチョムイーザ学園の子ども達の支援へ…

#### B L Tカフェは福島市泉にある「ハンバーガーのお店」

毎日小麦粉からバンズを作っておいしいハンバーガーを提供しています。ご予約をいただければ、まちなか夢工房さんの「夢詰麦」の食パンを使いサンドイッチも提供しています。



#### ルワダの教育を考える会との繋がり

B L Tカフェオーナーとマリールイズは、東日本大震災を経て仲良くさせていただいておりました。B L Tカフェでは「夢詰麦」の食パンを使用することでウムチョムイーザ学園の学校給食の寄付が出来、尚且つ、障がい者コミュニティサロンのまちなか夢工房さんの雇用維持にお役に立てるのであれば、一石二鳥のハッピーにつながると感じ食材を購入することで応援させていただいておりました。



ただ、今回の新型コロナウイルス感染症の騒動により、学校給食の維持うんぬんではなく、ウムチョムイーザ学園存続の維持が難しくなっている状況を知りました。

居てもたってもいられず、「マリールイズのために僕ができることはなんだろう？」と考えた時、まずは「動こう」と考えました。僕一人だけではどうにもならないかも？だけど、幸いにも僕には仲間がいる。マリールイズのことを大好きな、この東日本大震災から10年間紡いできた最高の仲間たち全員に相談しました。

そして、その仲間の呼びかけのお陰もあり、募金で集まったお金を今回、マリールイズにお渡しすることが出来ました。

**B L Tカフェは「お互いさま」という言葉を大事にしています。こんな時だからこそ「思いやりのキャッチボール」を優しさと共に分かち合いたいです。**

**「微力かもしれないが無力ではない」** そのような長期的な視野でこれからも支援させていただきます！



B L Tカフェ代表 吉成はぐ

福島市泉道下19-7

TEL 024 (563) 5018

<http://www.bl.land>



\*\*\*\*\*

## 「ルワンダ緊急募金に参加して」



松井国彦

この度は、ルワンダ緊急募金に参加させていただきありがとうございました。  
福島市野田町で整体院「縁」を営む松井国彦と申します。  
私が絵はがきを描くようになって20年になります。

“一日3通のはがきを誰かに送ることで人生が幸せになれる！”

あるはがき道の先生からこんな話を聞かされ、3日坊主の私にもこれならできるかもしれないと30年前からはがきを書き始めました。脱サラして20年前に整体院



「縁」を開業したところから、我流ではがきに絵を添えるようになりました。

その間、阪神大震災や東日本大震災を経験し、いく度も絵はがきを止めようとしたこともありましたが、その度に、絵はがきやそれを手に取った方々に励まされ続けて来れました。

気がつけば2500枚になりました。

10年前の東日本大震災で、我が家は5人の子どもと妻が米沢に避難し3年半2重生活を経験しました。

私たち家族よりももっと大変な思いをしている人たちに、何かできることはないだろうか、絵はがきを購入していただき、そのお金を福島県の約200名の震災孤児・遺児に毎月募金するようになりました。

3年ほど前からは、3女（当時小学2年生）のえりが、ダジャレ絵はがきを描き始め、共に募金活動を始めました。年末には1年の作品から12枚選び、手作りカレンダーを作りそれも募金にするようにしました。

2018年にルイズさんと出会いのご縁があり、早速ルワンダの教育を考える会の会員になり、娘と相談して年末カレンダー募金をルワンダに送ることにしました。

2020年は、コロナで世界中の人々が苦しみ、ルワンダでは生活の維持の困難で、学校に通えなくなってしまった子供たちのお話を、ルワンダのルイズさんから何度かお聞きし、少しでも力になればと思い、広くカレンダー募金を呼びかけました。

おかげさまで、たくさんの方々からご協力を頂きえりと喜びあいました。この経験を通じて、子供たちに、たとえ微力でも自分が出来ることで誰かの生きる力になれる事を感じ合い、共に未来へと生きる糧にしてもらえたらこの上ない幸せです。

“人は人とつながることでいきでゆけるのですから”

これからも、家族で力合わせて、この絵はがき募金活動を続けてゆきたいと思っています。ありがとうございました。

\*\*\*\*\*



## 「千の丘の国」からの贈り物

ルワンダは、世界における最高品質のコーヒー産出国の一つに数えられています。バランスのとれた柔らかみのある柑橘系の酸味と甘み、クリーミーなコクが特徴です。このコーヒーの収益金は、ルワンダの教育支援活動にあてられます。

**ルワンダコーヒー 200g 1,200円**

※ 豆・粉タイプ 5個以上のご注文で送料無料

**ルワンダ紅茶 100g 600円**



Ruhengeri Hospital Procurement Officer receiving NPO TER Donation (December 2020).

申込みは下記のメールでお願いします。  
e-mail : info@rwanda-npo.org

## お知らせ

総会予定 協議事項 - 事業報告・決算・事業計画・予算案・役員改選

※ 詳しい日時等は正会員にご案内いたします。会の発展のためにぜひご参加ください。  
新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、ZOOMでの開催も検討中です。

## ★各種振替口座番号のご案内です!★

### 会費振込・寄付・募金

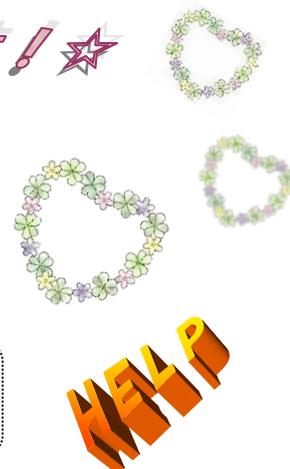
郵便振替口座：02290-0-97126

加入者名：NPO法人 ルワンダの教育を考える会

### 寄付・募金

みずほ銀行：店番号 715 口座番号 8023545

口座名：特定非営利活動法人ルワンダの教育を考える会



【ゆうちょ口座自動振込み寄付】 月一口500円から

ホームページ掲載 目標100名まで継続して募集します。現在70名登録

### —編集後記—

新型コロナウイルスの影響で、新しい生活様式が定着してきました。ネットでの会議や講演が当たり前、距離は離れていても相手を想う心は近くなっているようです。

T.S



NPO法人ルワンダの教育を考える会

理事長 永遠瑠マリールイズ

〒960-8036

福島県福島市新町8-21

TEL:024-563-6334 FAX:024-563-6335

ホームページ：<http://www.rwanda-npo.org>

福島mail : info@rwanda-npo.org